

経営比較分析表（令和2年度決算）

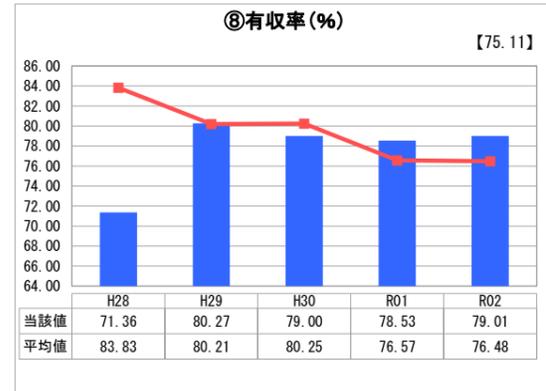
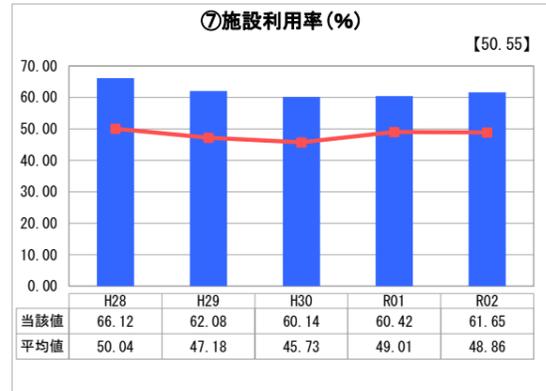
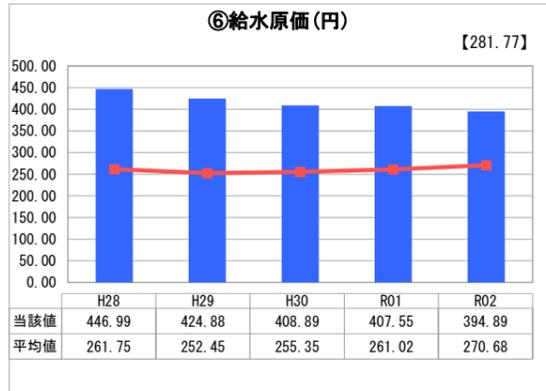
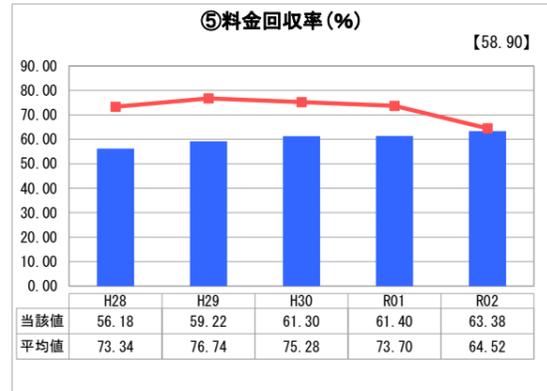
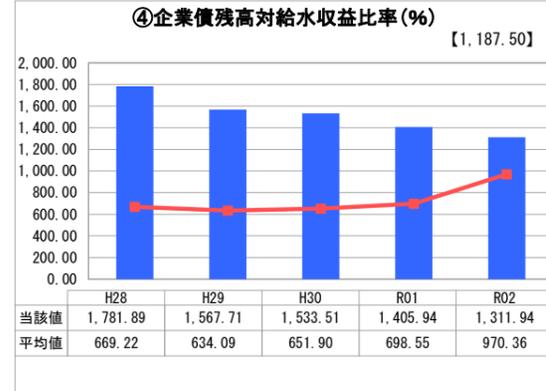
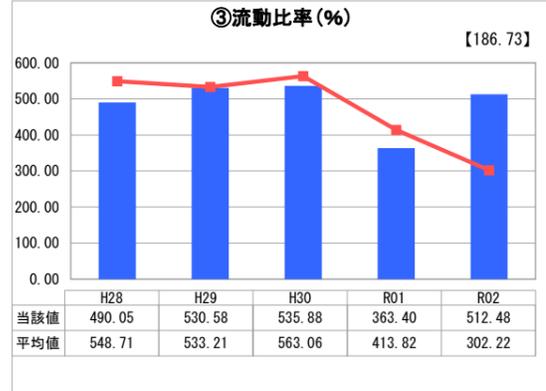
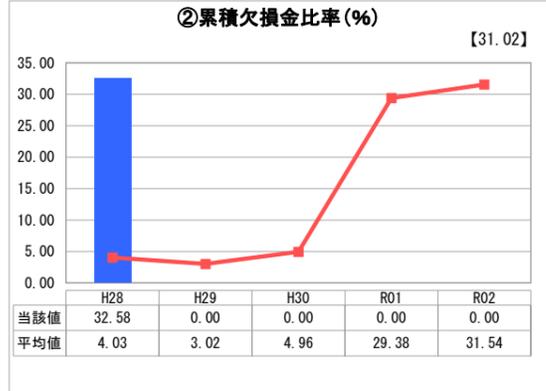
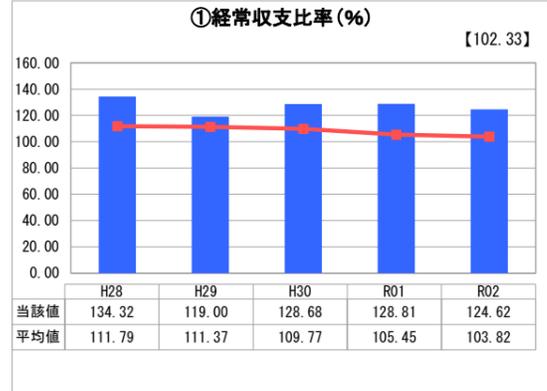
千葉県 香取市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	57.51	3.92	4,730	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
74,330	262.35	283.32
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,899	29.05	99.79

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

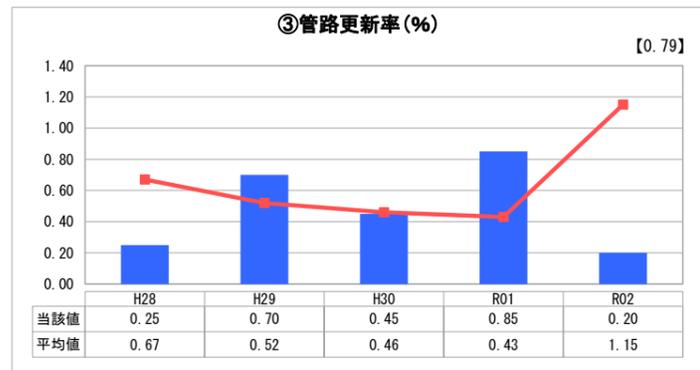
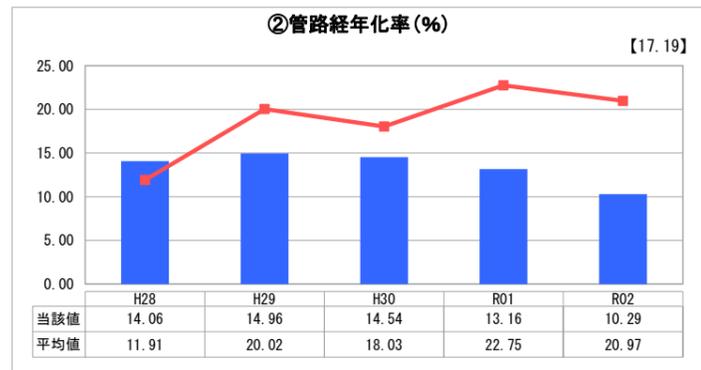
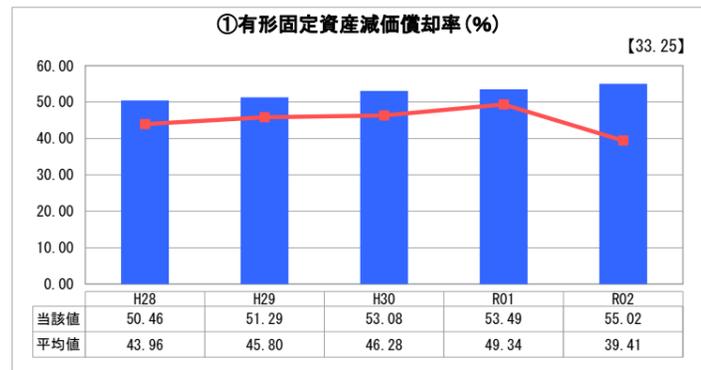
1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、補助金等の減少により、前年度から減少しているものの、基準となる100%及び平均値を上回った数値となっています。
- ② 累積欠損金比率は、累積欠損金が存在しないため該当なしとなっています。
- ③ 流動比率は、未払金等の減少により昨年よりも上昇し、平均値を上回った数値となっています。
- ④ 企業債残高対給水収益比率は、前年度より企業債残高は減少し、対給水収益比率も減少しているものの、施設拡張や管路の増設及び布設替えのための起債借入により依然として高い数値のままとなっています。
- ⑤ 料金回収率は、前年度より増加しているが、依然として100%を下回っている状態であることから、給水収益以外の外部資金に依存している経営状態が継続しています。
- ⑥ 給水原価は、有収水量の増加により、前年度よりも減少していますが、依然として平均値より高い数値となっています。
- ⑦ 施設利用率は、配水量の増加に伴って、前年度より上昇し、平均値より高い数値となっています。
- ⑧ 有収率は、有収水量が増加したため、前年度よりも上昇し平均値を上回っています。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、昨年度よりも上昇し、平均値を上回っており、将来における有形固定資産の更新時期が近付いていることを示しています。
- ② 管路経年率は、昨年度より減少しており、平均値よりも低い数値となっています。
- ③ 管路更新率は、昨年度より減少しており、平均値よりも低い数値となっています。

2. 老朽化の状況



全体総括

当市の簡易水道事業は、事業区域の地理的特性から設備投資が多額にならざるを得ず、また井戸併用者が多いことから有収水量が伸び悩んでいる。短期的には加入促進に努めるなどの経営の合理化を進めつつ、中長期的には設備投資の効率性を高める必要があります。